

(様式1)

令和6年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
県民公園頼成の森 自然保護課

2 施設所在地
砺波市頼成156

3 施設設置年度
昭和50 年度

4 設置目的
県民公園の自然風致公園として、県民に森林を生かした休養、レクリエーションの場を提供することを目的として設置された公園で、森林と花しょうぶ園の適切な管理を行うとともに、森林学習の場として森林科学館の有効活用を図る。

5 施設概要
・敷地面積
115ha
・主な施設
森林科学館：木造平屋建て 361.164m²
水生植物園：約6ha 花しょうぶ（600品種、70万株）
遊歩道：総延長13.4km
展示林（第20回全国植樹祭会場跡地）
バーベキュー施設：8人用10卓

6 指定管理者
公益財団法人 花と緑の銀行

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R2	R3	R4	R5	R6
111,215	128,769	147,388	130,578	130,519

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R2	R3	R4	R5	R6
—	—	—	—	—

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R2	R3	R4	R5	R6
—	—	—	—	—

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

目標値は、入園者数160千人、花しょうぶ祭り60千人である。令和6年度の入園者数は131千人、うち花しょうぶ祭り37千人で、いずれも目標値を達成することができなかった。また、昨年度の実績も下回った。原因としては花しょうぶ祭り最終日、豪雨予報により祭りを中止したことなどから、祭り期間中の入園者が8千人ほど減少したことなどがあげられる。全体的に入園者が伸び悩んでいる原因としては、昨年引続き猛暑、クマ出没による野外活動の自粛、また、年明けからの多雪の影響が考えられる。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・杉展示林の間伐を実施し、健全な森づくりと良好な景観確保に努めた。
- ・森林科学館来館者等への自然情報提供などの際、丁寧な対応に心がけた。
- ・より開かれた県民公園とするため、夏休みの子ども向けイベントを充実。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・イベント案内パンフレットを児童施設や公共施設等に配布。又、ホームページ、ブログ（頼成の森だより）によって、頼成の森の自然イベント情報をリアルタイムで提供した。
- ・森林科学館を訪れただけでも楽しんでもらえるよう、木のゲーム、木の楽器の製作・設置を進めている。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	森林科学館およびバーベキュー施設にアンケートボックスを設置
回答者数	26件
結果	「工作が楽しかった」「遊歩道が整備されていた」など好意的な意見が多いが、「バーベキュー施設にヘラがあれば良い」等の意見もあった。
結果を踏まえた改善事項	バーベキュー施設にヘラを設置

② その他利用者の声を反映させる取組み

アンケートの実施に加え、イベント参加者や森林科学館入館者などへのあいさつ、声掛け、情報提供を積極的に行い、率直な意見を頂けるよう努めている。

③ 主な苦情と対応

花しょうぶ祭り期間中、利用者から一部木道が破損しているとの指摘を受けたことから、速やかに一部通行止め措置を行うとともに、「ゆっくりとお気をつけてお歩きください」の旨表示した看板を数か所設置し注意喚起を図った。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報に関する指針を定めて職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

花しょうぶ祭り実行委員会の一員として、砺波市、砺波市観光協会、砺波商工会議所、地元自治振興会等の関係団体と連携をとり、祭りの開催の内容等を検討した。

(7) 施設・設備の維持管理

・令和6年4月に花しょうぶ田1号田の盛土部で亀裂が見つかったことから、調査を行い復旧に向け県において工事を発注。
・その他は適切に維持・管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・遊歩道沿いの枯損木、傾斜木等処理し、利用者への安全確保に努めた。
・クマ出没警報や近隣での目撃情報を受け、森林科学博物館および遊歩道入口に注意喚起看板を掲示するとともに、クマよけ鈴の貸し出しを実施。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	5
無	—
有	1

【トラブルの具体的内容と対応】

・令和6年4月に花しょうぶ田1号田で亀裂発見→速やかに調査、復旧工事を実施

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

昨年度は、特筆すべき災害等はなかったものの、猛暑やクマ出没などにより森林散策等の野外活動が自粛、停滞したと思われる。
このことから、木のゲーム、木の楽器を製作し森林科学館に設置する取り組みを進めており、今後も、森林科学館周辺だけでも楽しんでもらえるよう、森林科学館やバーベキュー施設の一層の充実を図るとともに、周辺花木の整備等、魅力ある施設運営に努めていく。